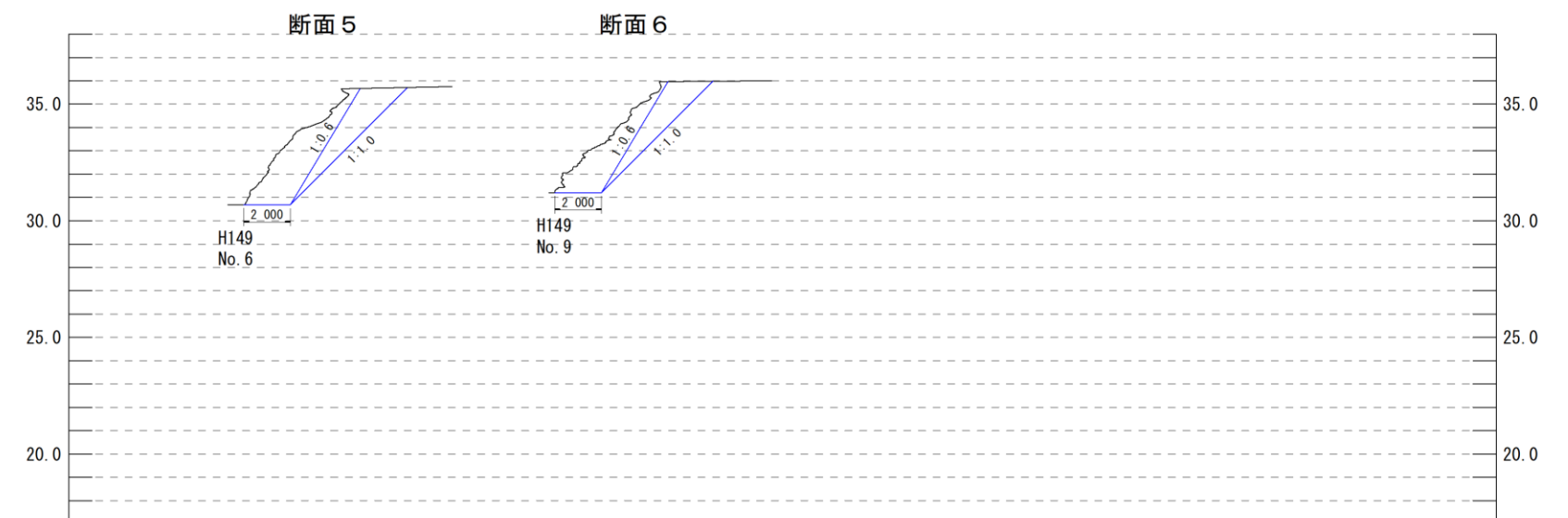
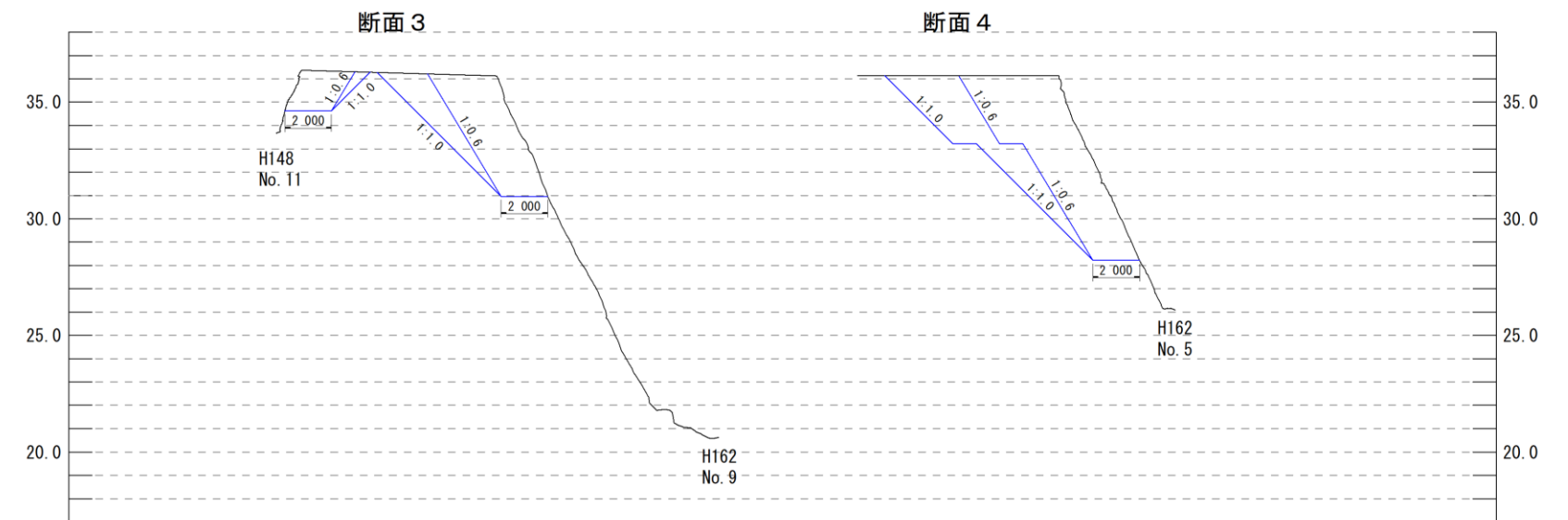
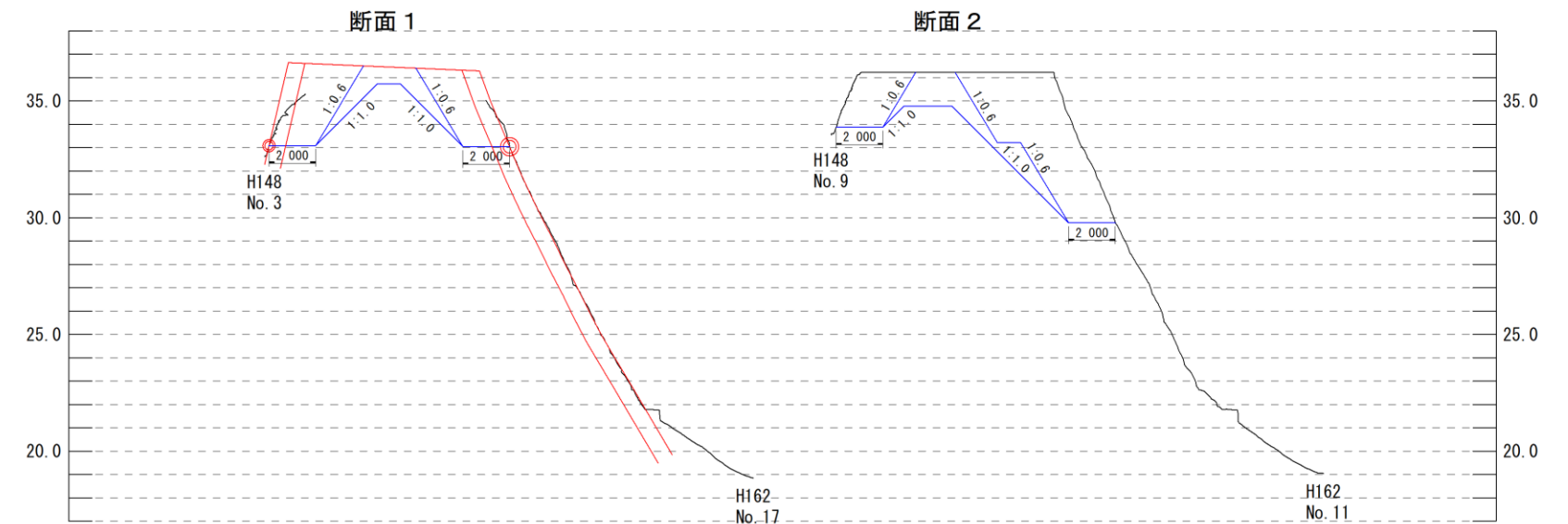
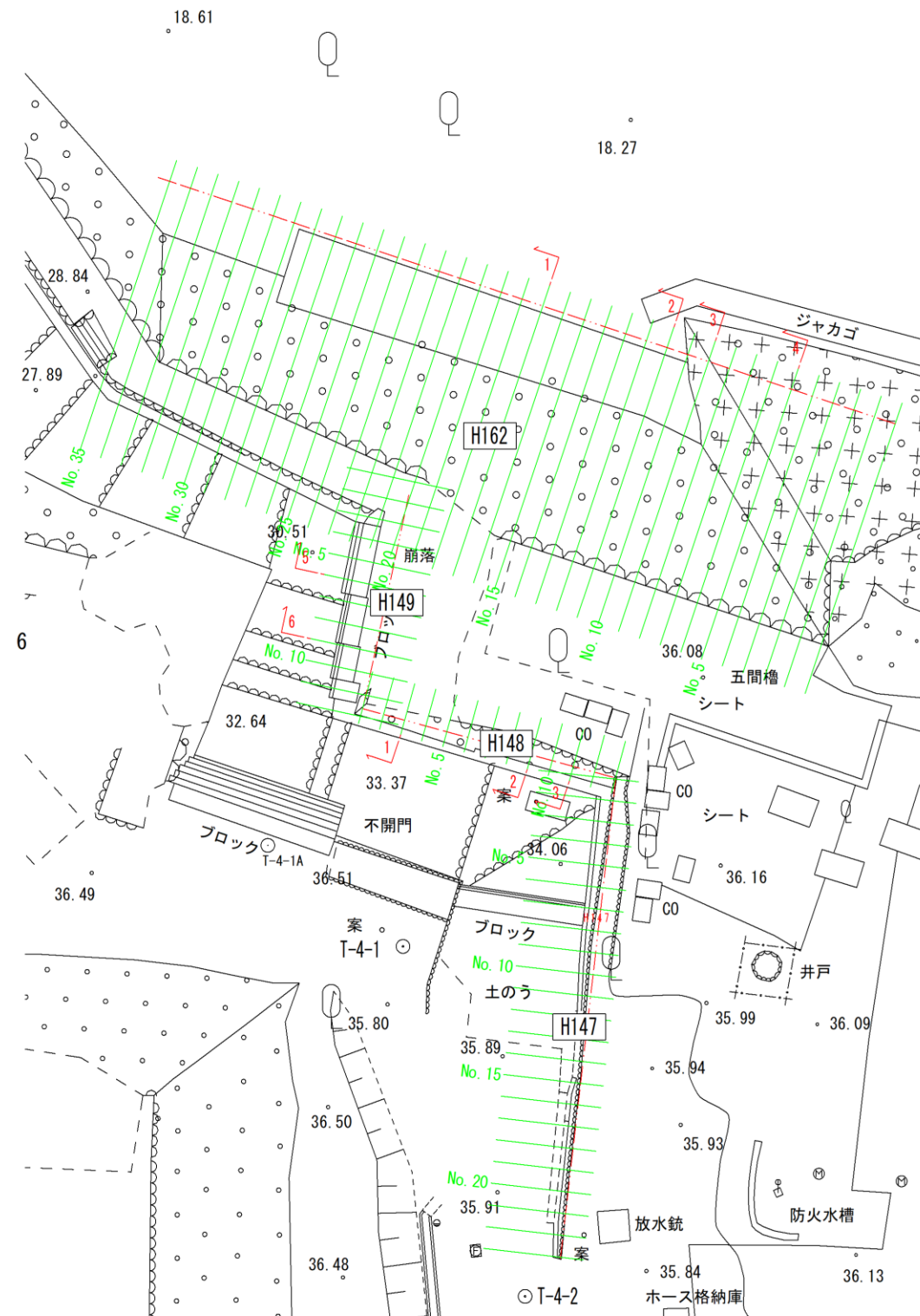
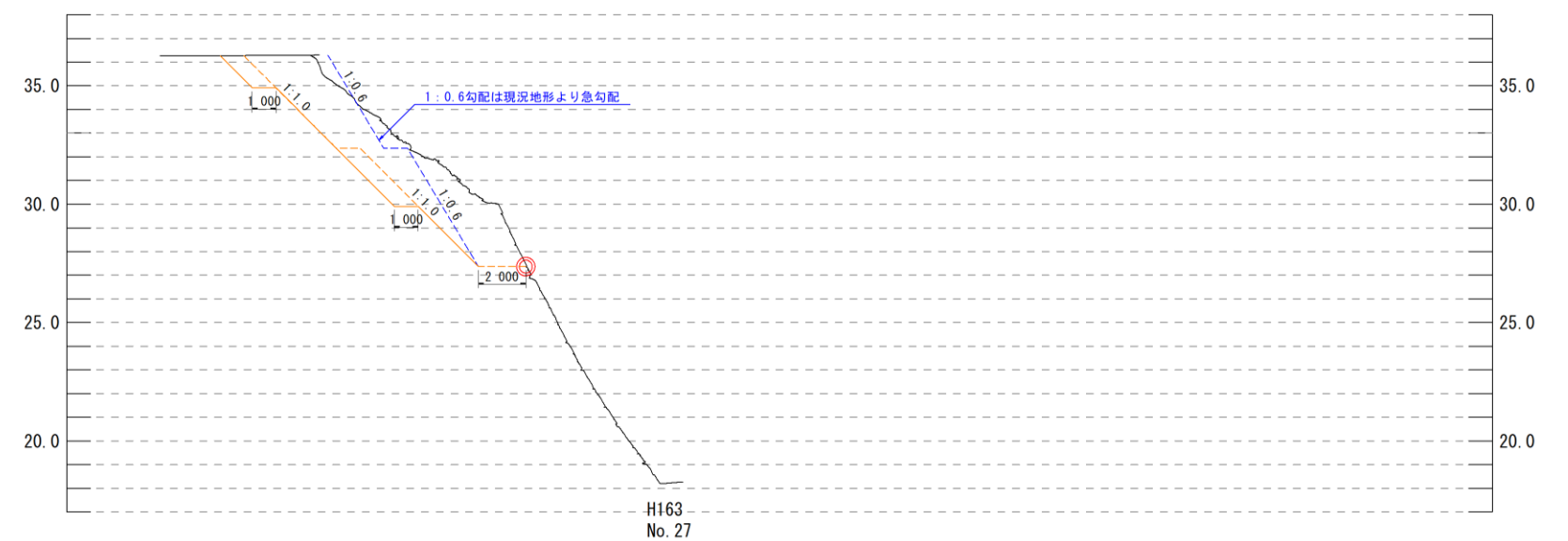
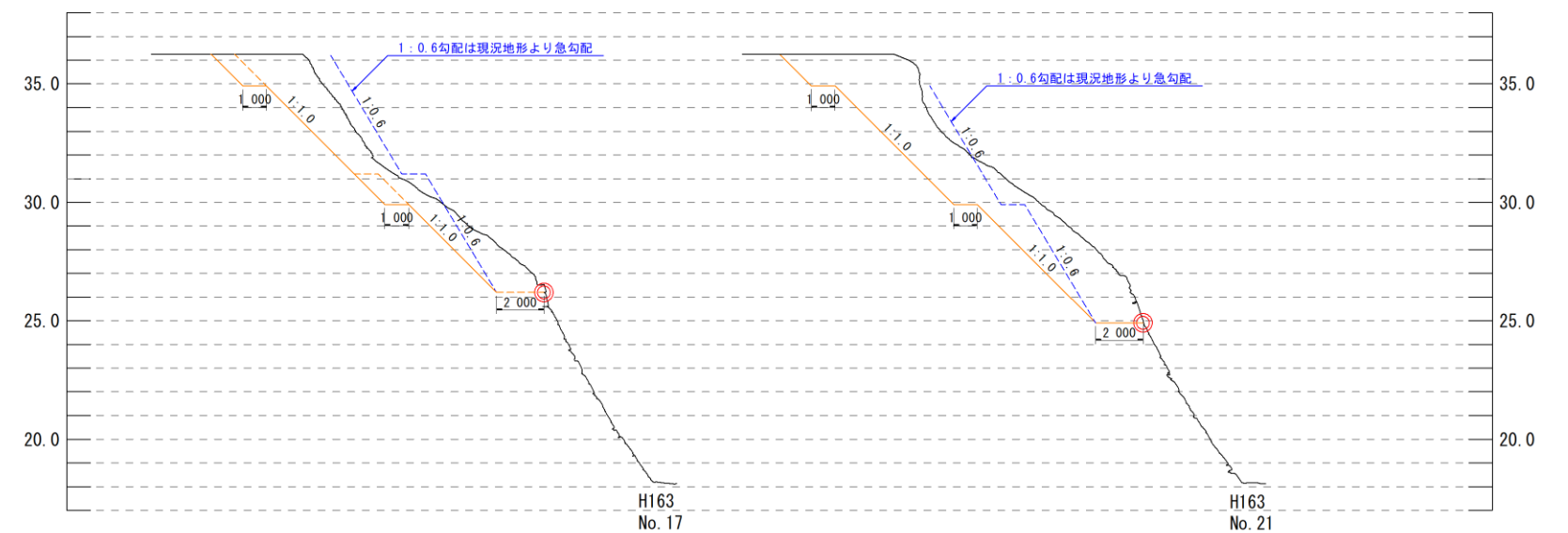
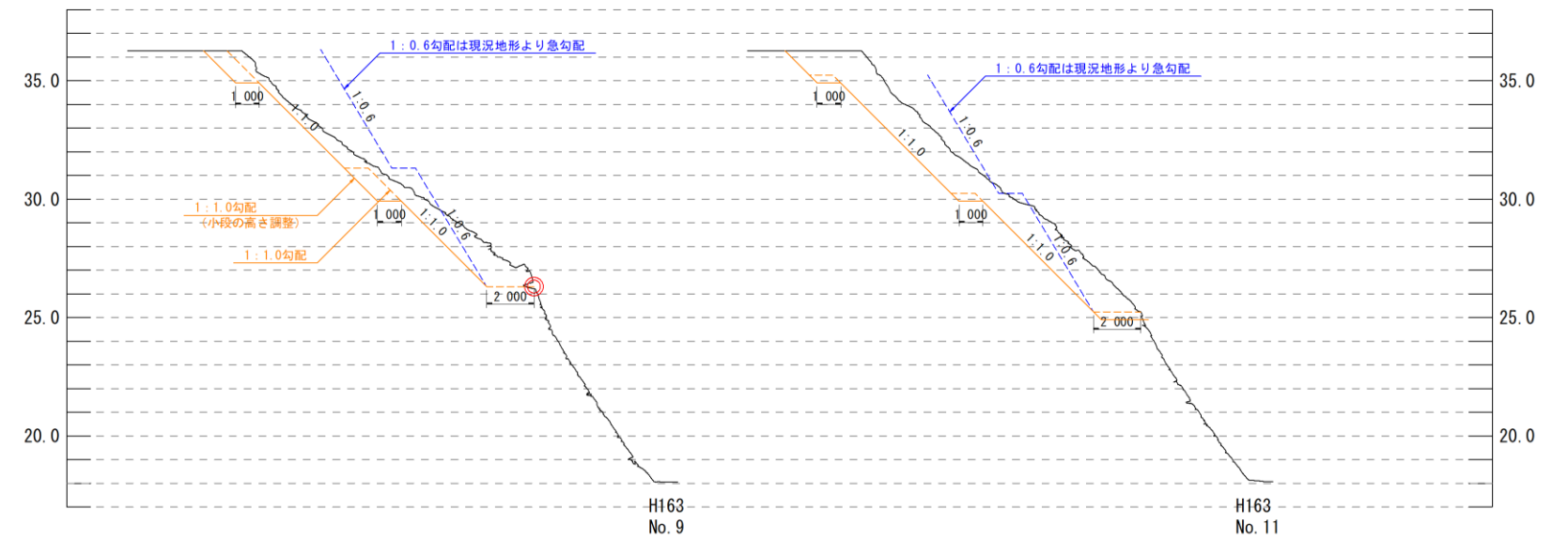
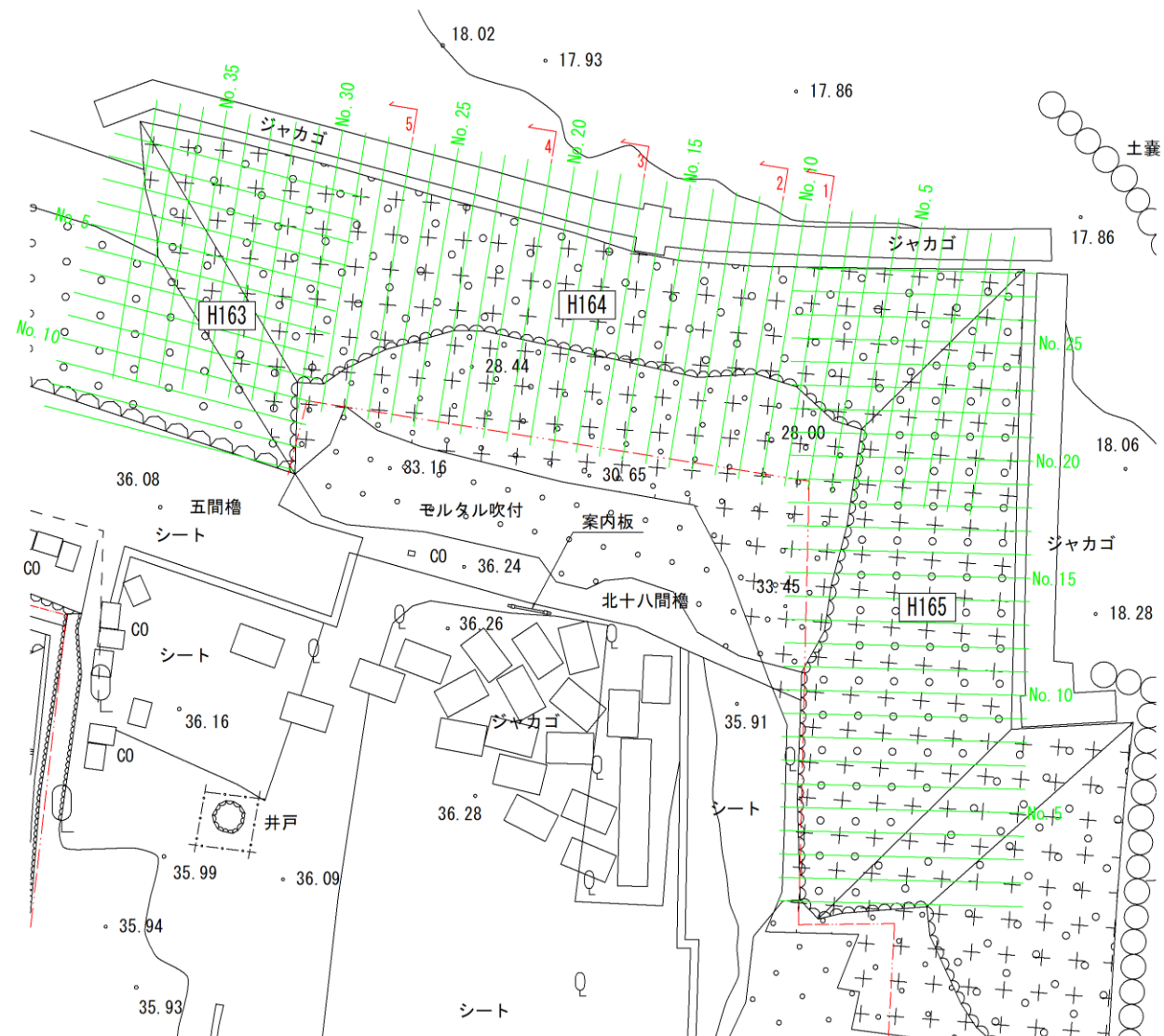
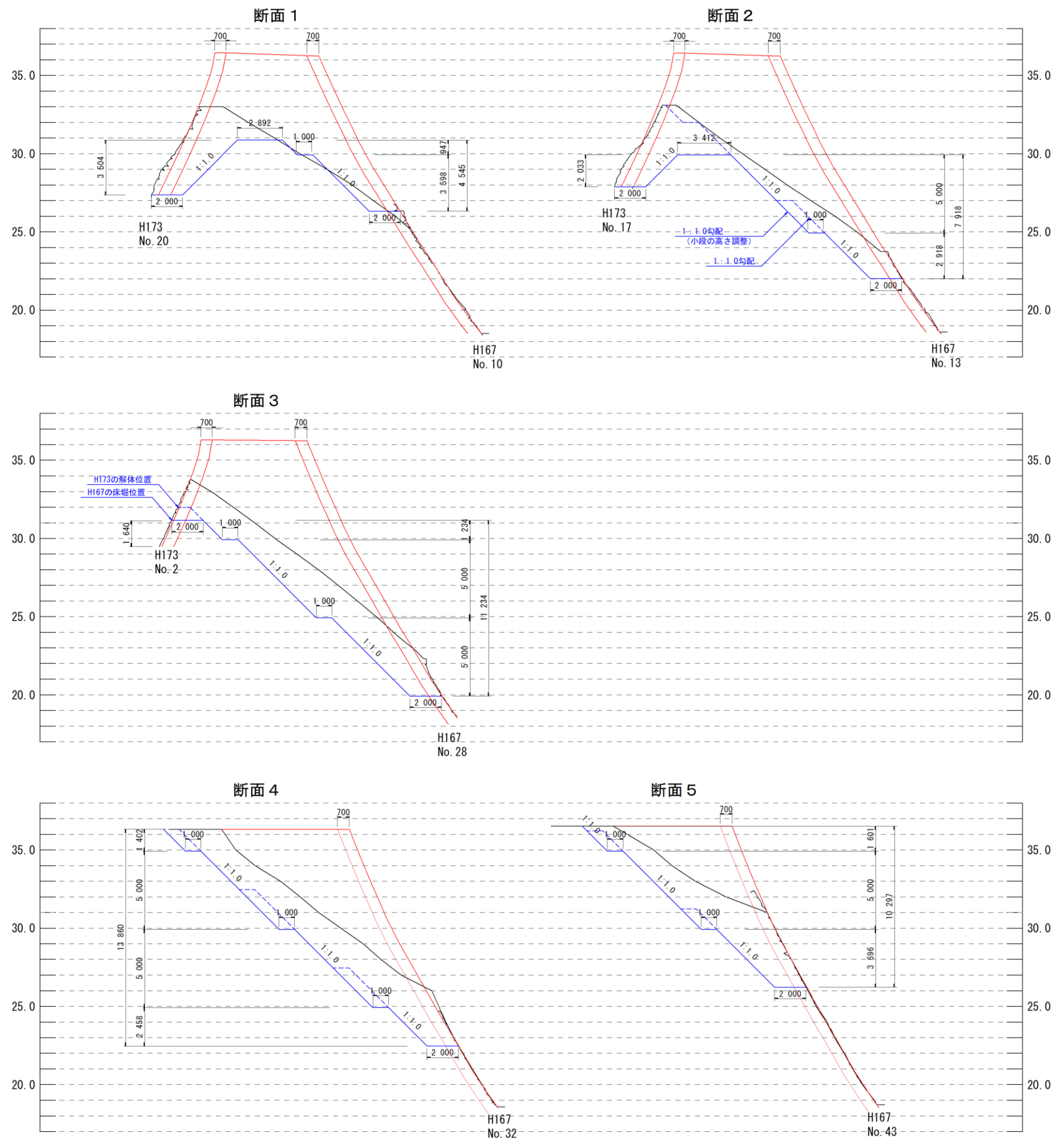
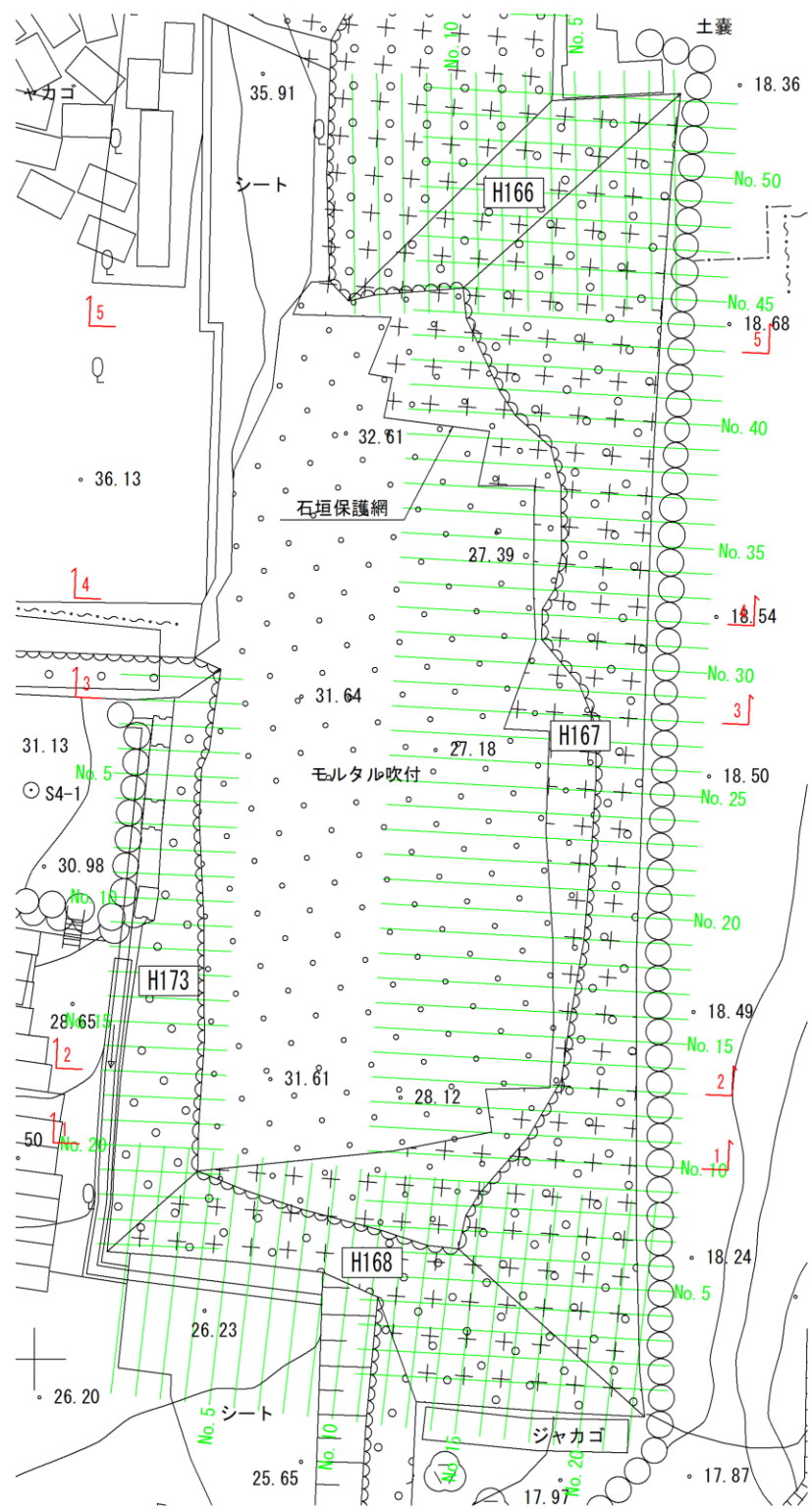
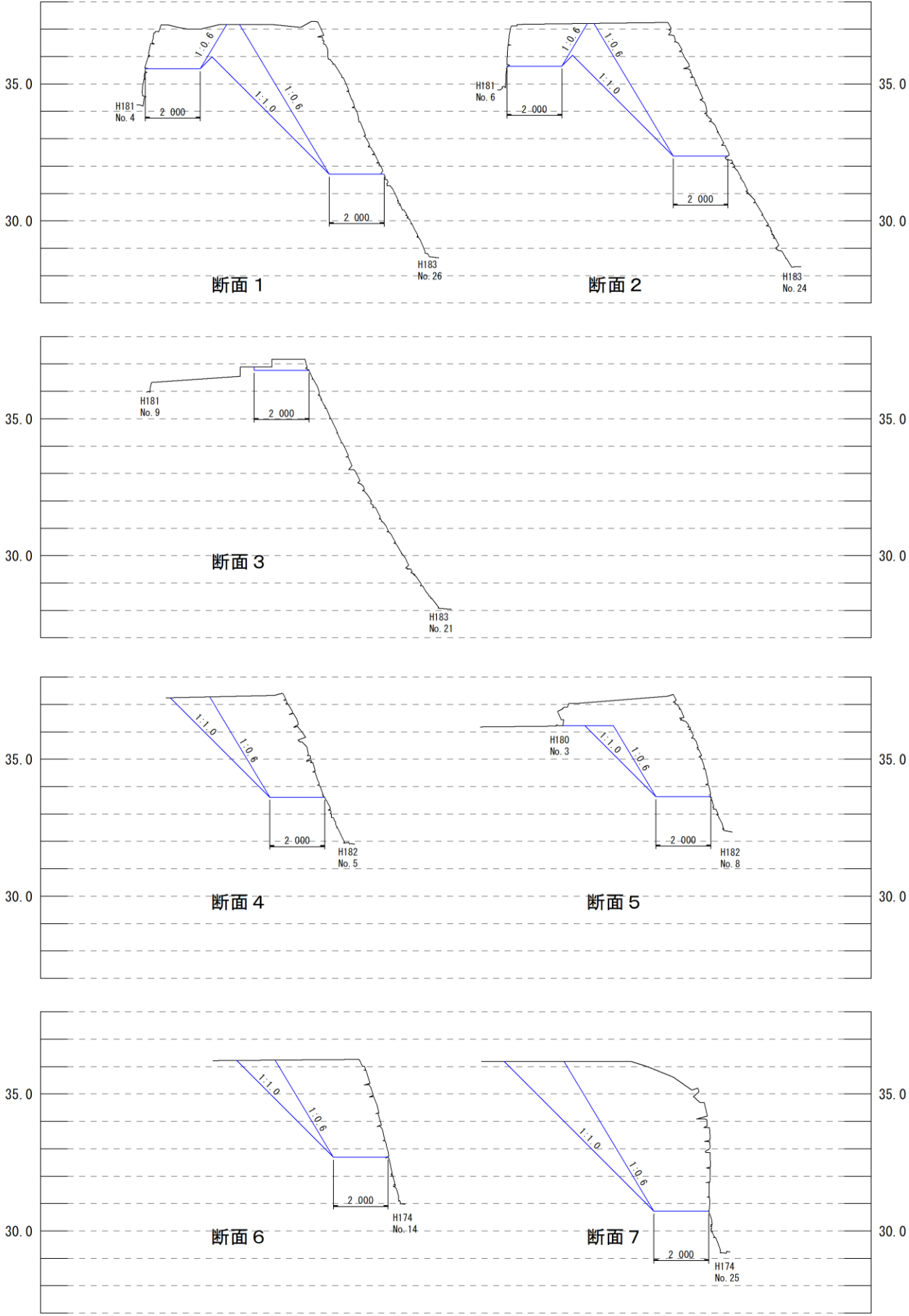
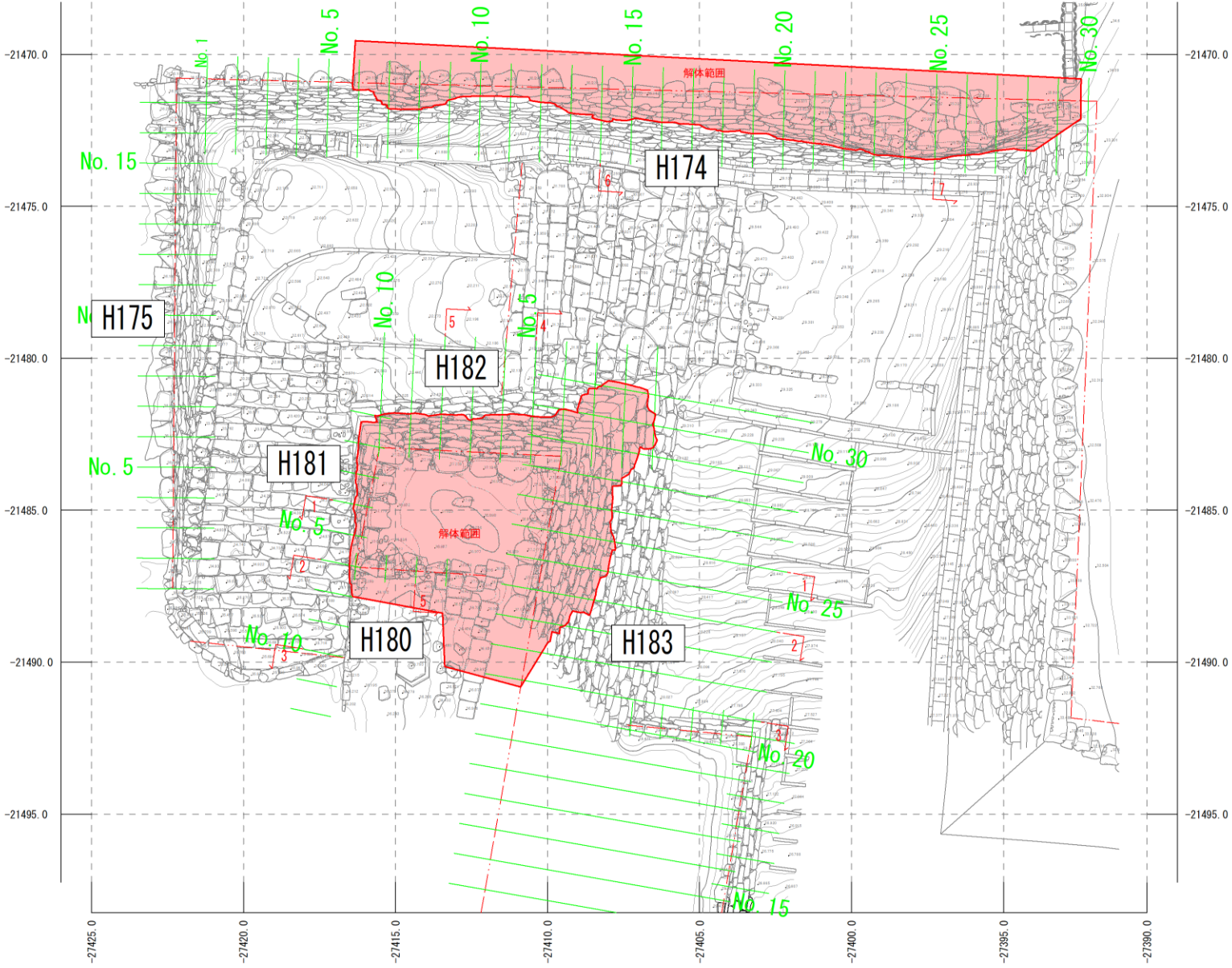


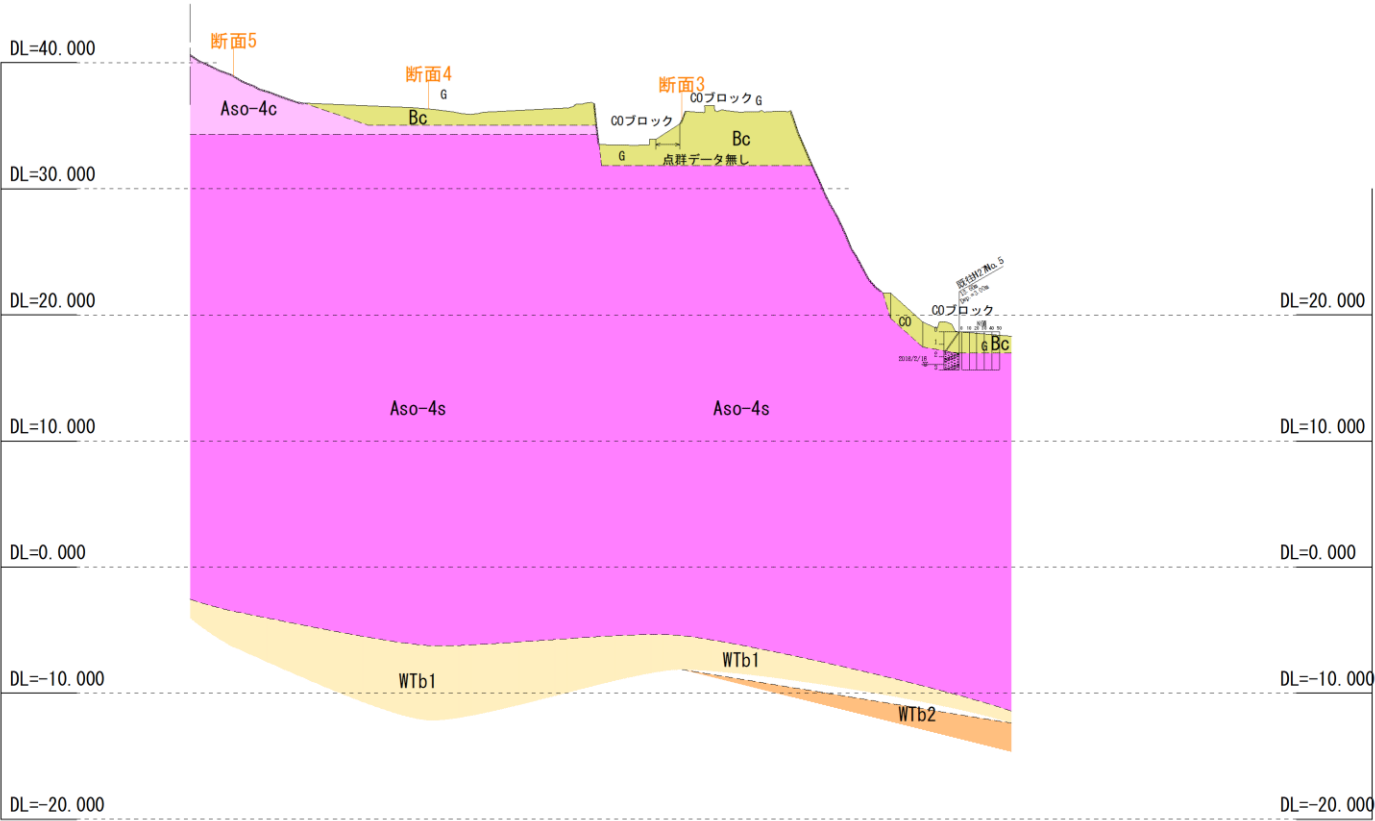








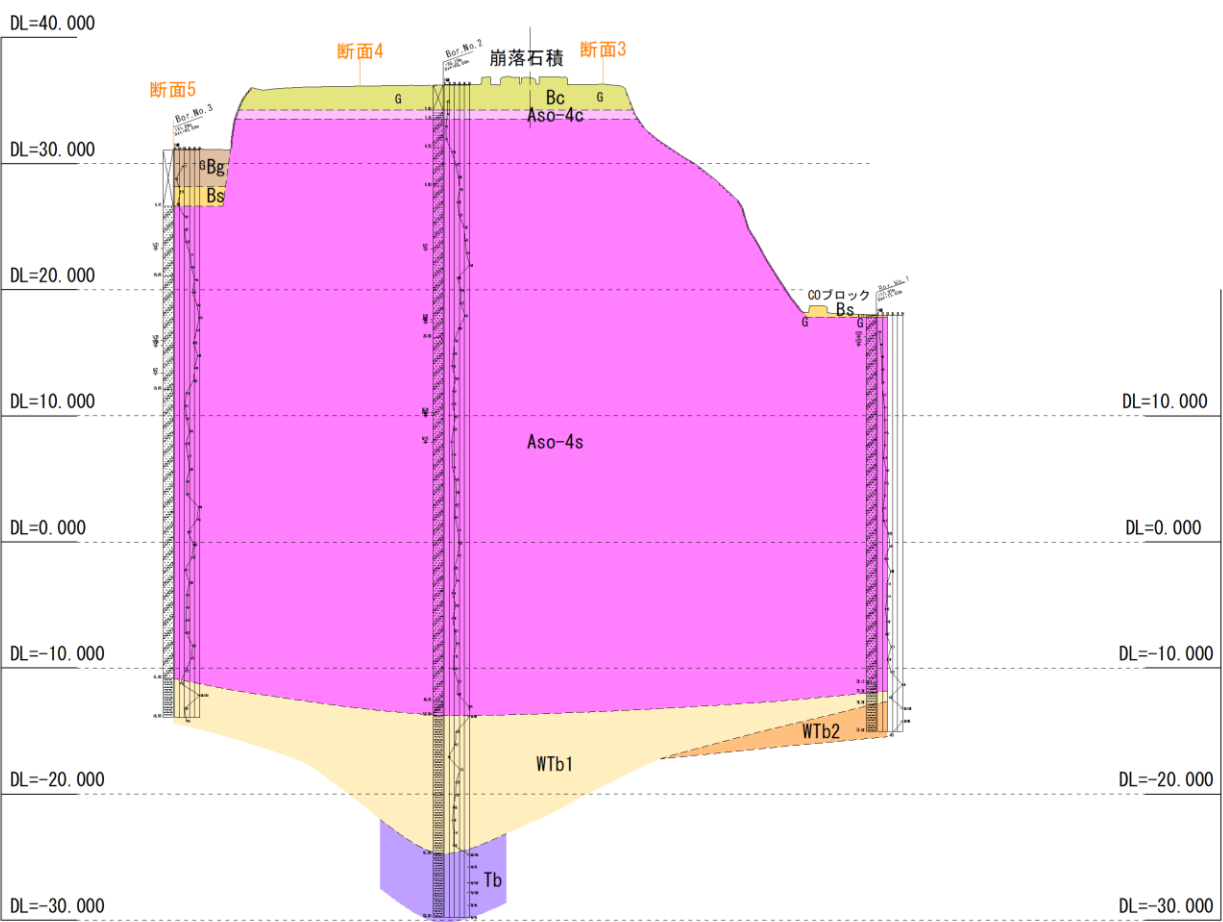
推定地質断面図（断面1）



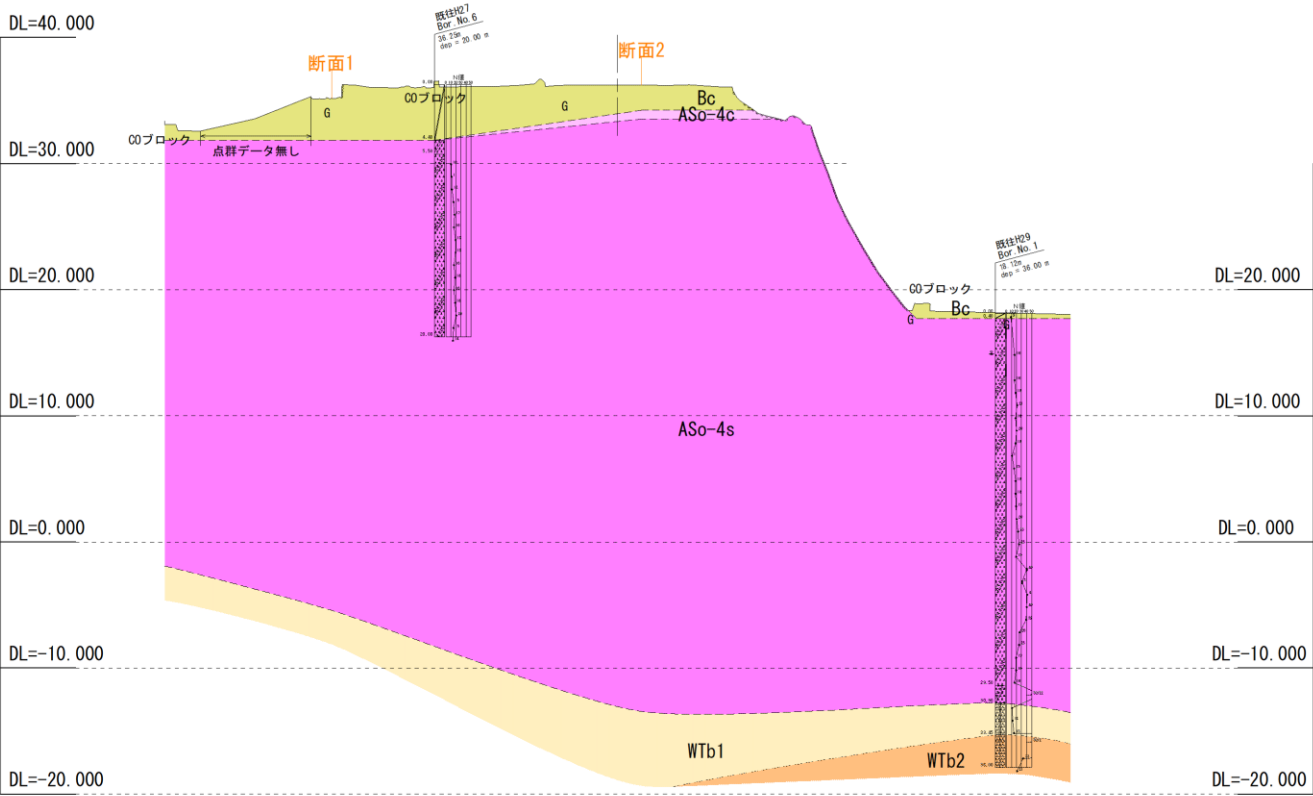
地層層序表

地質時代	地層名	記号	土質・地質名	N値範囲	記事
新生代第四紀	完新世	Bc	粘性土	6	砂質粘性土の盛土。 Bor. No. 2孔のみで確認される。
		Bs	砂質土	6～12	礫混じり砂～シルト質砂状の盛土。
		Bg	礫質土	3～17	φ30mm未満の礫を主体とする盛土である。
	後期更新世	Aso-4c	火山灰質粘性土	6	砂質粘性土を呈する。 Bor. No. 2孔のみで確認される。
		Aso-4s	火山灰質砂質土	3～50	軽石を多く混入する半固結の火山灰質砂や 火山灰質砂礫からなる。
		Dc	固結粘土	16	旧表土であると推定される固結粘土。 Bor. No. 4孔のみで確認される。
	前期更新世	WTb1	強風化凝灰角礫岩	8～50以上	固結粘土状コアが主体で、風化安山岩礫を 混入する。一部硬質礫を残存する。
		WTb2	風化凝灰角礫岩	25～50以上	部状コアを呈する。安山岩の風化～未風化礫 主体。マトリクスの固結は良好。
		Tb	凝灰角礫岩	50以上	棒状コアが主体であるが、一部砂礫状コアを 呈する。軟岩に相当する。
					※N値範囲は本業務のみで、特異値を除く値。

推定地質断面図（断面2）



推定地質断面図（断面3）



地層層序表

地質時代		地層名	記号	土質・地質名	N値範囲	記事
新生代 第四紀	完新世	盛土	Bc	粘性土	6	砂質粘性土の盛土。 Bor. No. 2孔のみで確認される。
			Bs	砂質土	6～12	礫混じり砂～シルト質砂状の盛土。
			Bg	礫質土	3～17	φ30mm未満の礫を主体とする盛土である。
	後期更新世	阿蘇4 火砕流堆積物	Aso-4c	火山灰質粘性土	6	砂質粘性土を呈する。 Bor. No. 2孔のみで確認される。
			Aso-4s	火山灰質砂質土	3～50	軽石を多く混入する半固結の火山灰質砂や 火山灰質砂礫からなる。
	更新世	旧表土	Dc	固結粘土	16	旧表土であると推定される固結粘土。 Bor. No. 4孔のみで確認される。
	前期更新世	金峰山古期 火山噴出物	WTb1	強風化凝灰角礫岩	8～50以上	固結粘土状コアが主体で、風化安山岩礫を 混入する。一部硬質礫を残存する。
			WTb2	風化凝灰角礫岩	25～50以上	部状コアを呈する。安山岩の風化～未風化礫 主体。マトリクスの固結は良好。
			Tb	凝灰角礫岩	50以上	棒状コアが主体であるが、一部砂礫状コアを 呈する。軟岩に相当する。

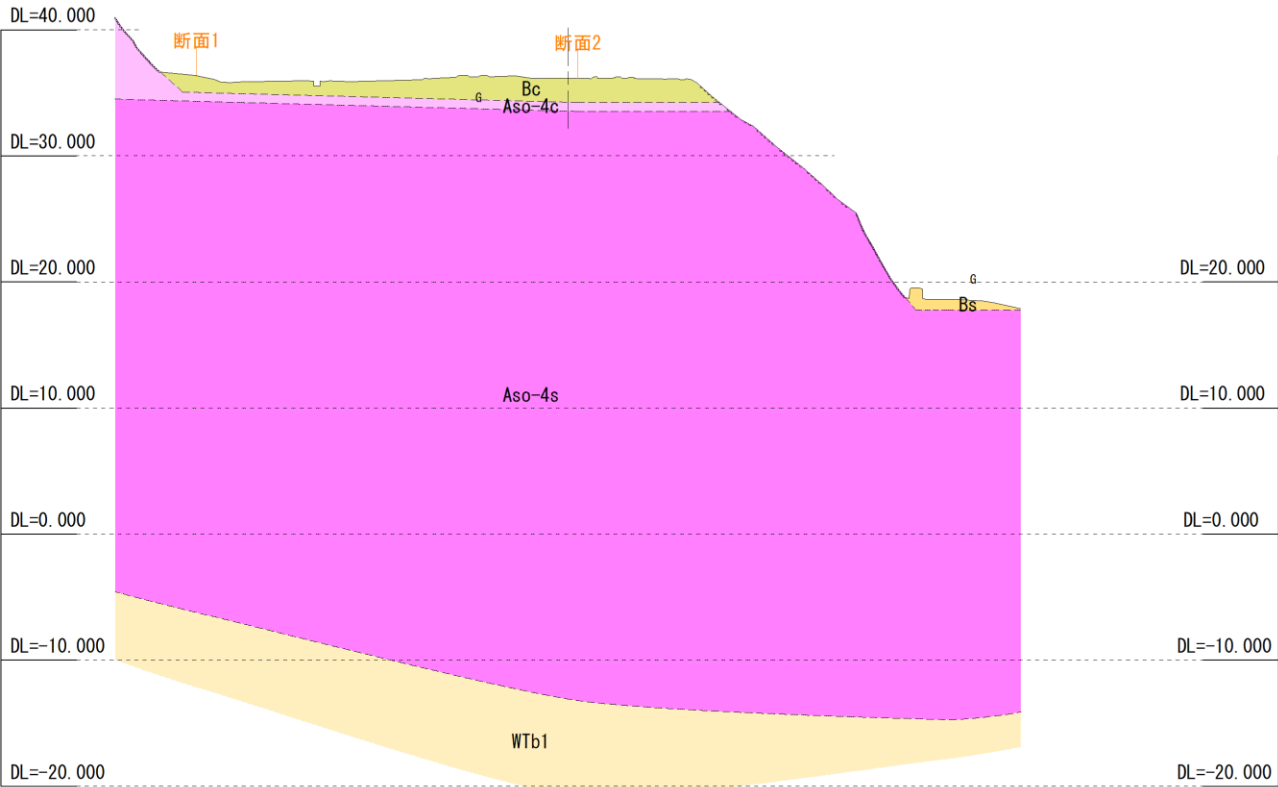
※N値範囲は本業務のみで、特異値を除く値。

地層層序表

地質時代		地層名	記号	土質・地質名	N値範囲	記事
新生代 第四紀	完新世	盛土	Bc	粘性土	6	砂質粘性土の盛土。 Bor. No. 2孔のみで確認される。
			Bs	砂質土	6～12	礫混じり砂～シルト質砂状の盛土。
			Bg	礫質土	3～17	φ30mm未満の礫を主体とする盛土である。
	後期更新世	阿蘇4 火砕流堆積物	Aso-4c	火山灰質粘性土	6	砂質粘性土を呈する。 Bor. No. 2孔のみで確認される。
			Aso-4s	火山灰質砂質土	3～50	軽石を多く混入する半固結の火山灰質砂や 火山灰質砂礫からなる。
	更新世	旧表土	Dc	固結粘土	16	旧表土であると推定される固結粘土。 Bor. No. 4孔のみで確認される。
	前期更新世	金峰山古期 火山噴出物	WTb1	強風化凝灰角礫岩	8～50以上	固結粘土状コアが主体で、風化安山岩礫を 混入する。一部硬質礫を残存する。
			WTb2	風化凝灰角礫岩	25～50以上	部状コアを呈する。安山岩の風化～未風化礫 主体。マトリクスの固結は良好。
			Tb	凝灰角礫岩	50以上	棒状コアが主体であるが、一部砂礫状コアを 呈する。軟岩に相当する。

※N値範囲は本業務のみで、特異値を除く値。

推定地質断面図（断面4）

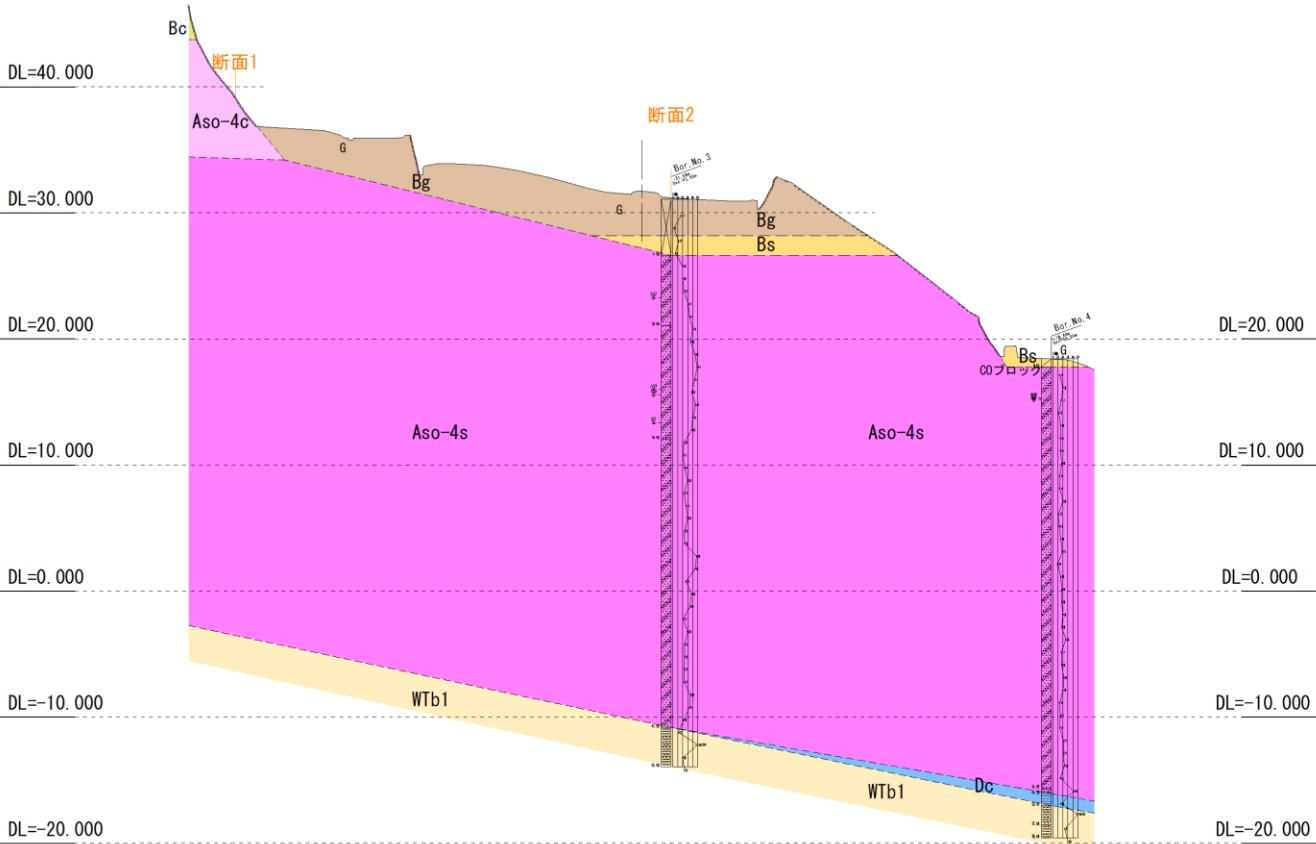


地層層序表

地質時代	地層名	記号	土質・地質名	N値範囲	記事	
新生代 第四紀 更新世	完新世	Bc	粘性土	6	砂質粘性土の盛土。 Bor. No. 2孔のみで確認される。	
		Bs	砂質土	6～12	礫混じり砂～シルト質砂状の盛土。	
		Bg	礫質土	3～17	φ30mm未満の礫を主体とする盛土である。	
	後期更新世	阿蘇4 火砕流堆積物	Aso-4c	火山灰質粘性土	6	砂質粘性土を呈する。 Bor. No. 2孔のみで確認される。
			Aso-4s	火山灰質砂質土	3～50	軽石を多く混入する半固結の火山灰質砂や 火山灰質砂礫からなる。
	旧表土	Dc	固結粘土	16	旧表土であると推定される固結粘土。 Bor. No. 4孔のみで確認される。	
	前期更新世	金峰山古期 火山噴出物	WTb1	強風化凝灰角礫岩	8～ 50以上	固結粘土状コアが主体で、風化安山岩礫を 混入する。一部硬質礫を残存する。
			WTb2	風化凝灰角礫岩	25～ 50以上	部状コアを呈する。安山岩の風化～未風化礫 主体。マトリクスの固結は良好。
			Tb	凝灰角礫岩	50以上	棒状コアが主体であるが、一部砂礫状コアを 呈する。軟岩に相当する。

※N値範囲は本業務のみで、特異値を除く値。

推定地質断面図（断面5）



地層層序表

地質時代	地層名	記号	土質・地質名	N 値範囲	記事	
新生代 第四紀 更新世	完新世	Bc	粘性土	6	砂質粘性土の盛土。 Bor. No. 2孔のみで確認される。	
		Bs	砂質土	6～12	礫混じり砂～シルト質砂状の盛土。	
		Bg	礫質土	3～17	φ30mm未満の礫を主体とする盛土である。	
	後期更新世	阿蘇4 火砕流堆積物	Aso-4c	火山灰質粘性土	6	砂質粘性土を呈する。 Bor. No. 2孔のみで確認される。
			Aso-4s	火山灰質砂質土	3～50	軽石を多く混入する半固結の火山灰質砂や 火山灰質砂礫からなる。
	更新世	旧表土	Dc	固結粘土	16	旧表土であると推定される固結粘土。 Bor. No. 4孔のみで確認される。
	前期更新世	金峰山古期 火山噴出物	WTb1	強風化凝灰角礫岩	8～ 50以上	固結粘土状コアが主体で、風化安山岩礫を 混入する。一部硬質礫を残存する。
			WTb2	風化凝灰角礫岩	25～ 50以上	部状コアを呈する。安山岩の風化～未風化礫 主体。マトリクスの固結は良好。
			Tb	凝灰角礫岩	50以上	棒状コアが主体であるが、一部砂礫状コアを 呈する。軟岩に相当する。

※N値範囲は本業務のみで、特異値を除く値。